

家庭で
血圧測定をする
目的は

ふだんの血圧の状態を正確に知ること

朝の血圧が正常でも、
早朝に血圧が高くなるなどの「仮面高血圧」が分かります

脳卒中や心臓、
腎臓の病気の
発症を防ぐこと

1 血圧計の選び方は？



2 正しい測定方法

測定のタイミング

- 1日2回(朝・夜)行う

朝

- ・起床後1時間以内
- ・トイレに行ったあと
- ・朝食の前
- ・薬をのむ前

夜

- ・寝る直前
- ・入浴や飲酒の直後は避ける

家庭で血圧を測定する場合には、上にあげた条件のもとで行なうことが大切。朝は4つの条件を守るようにする。夜は、入浴や飲酒の直後は避け、必ず寝る直前に測るようとする。

測定するときのポイント

- いすに座って1~2分たってから測定する

座ったばかりだと、血圧が安定していないことがある。測定時には、腕の力を抜いて、リラックスすることも大切。

- カフは心臓と同じ高さで測定する

カフが心臓よりも低い位置だと、「数値が低く出る」など、不正確になる場合がある。

- 薄手のシャツ1枚なら着たままでよい

カフは素肌に直接巻きつけたほうがよいが、薄手のシャツ1枚ぐらいなら、着たまま測定してもよい。

3 家庭血圧の基準値は？

正常血圧の基準値

	収縮期	拡張期
家庭で測定	125未満	80未満

高血圧の診断基準

	収縮期	拡張期
病院で	140以上	90以上

	収縮期	拡張期
家庭で測定	135以上	85以上

降圧治療の対象

※ただし糖尿病や腎障害がある場合は、厳格な降圧目標が決められ、この基準は用いません。

参考) 日本高血圧学会
家庭血圧測定ガイドライン

測定値は記録して、主治医に見てもらいましょう。高血圧が続く、または過剰な降圧がみられる場合、主治医が降圧剤の種類を変えたり、增量(減量)したりするための大切な判断材料となります。